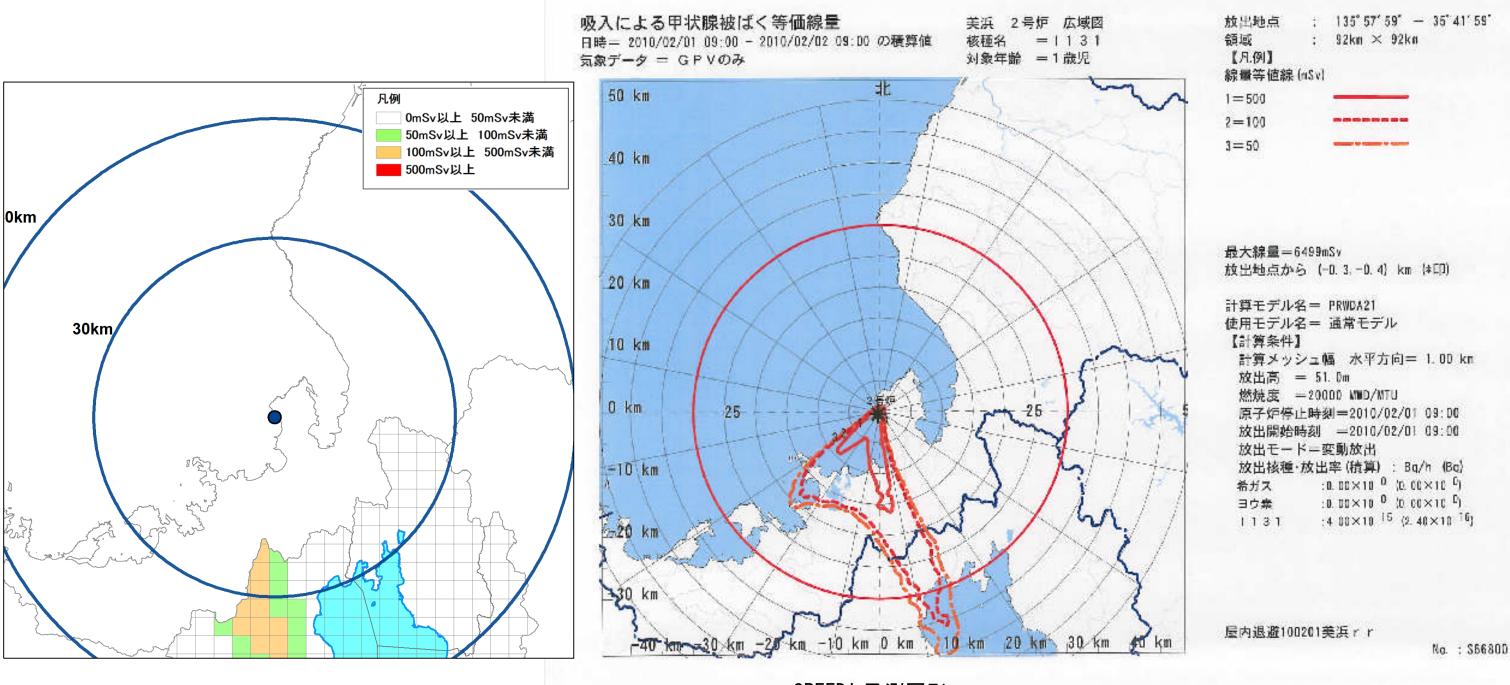
滋賀県モデルおよび SPEEDIによる拡散予測図

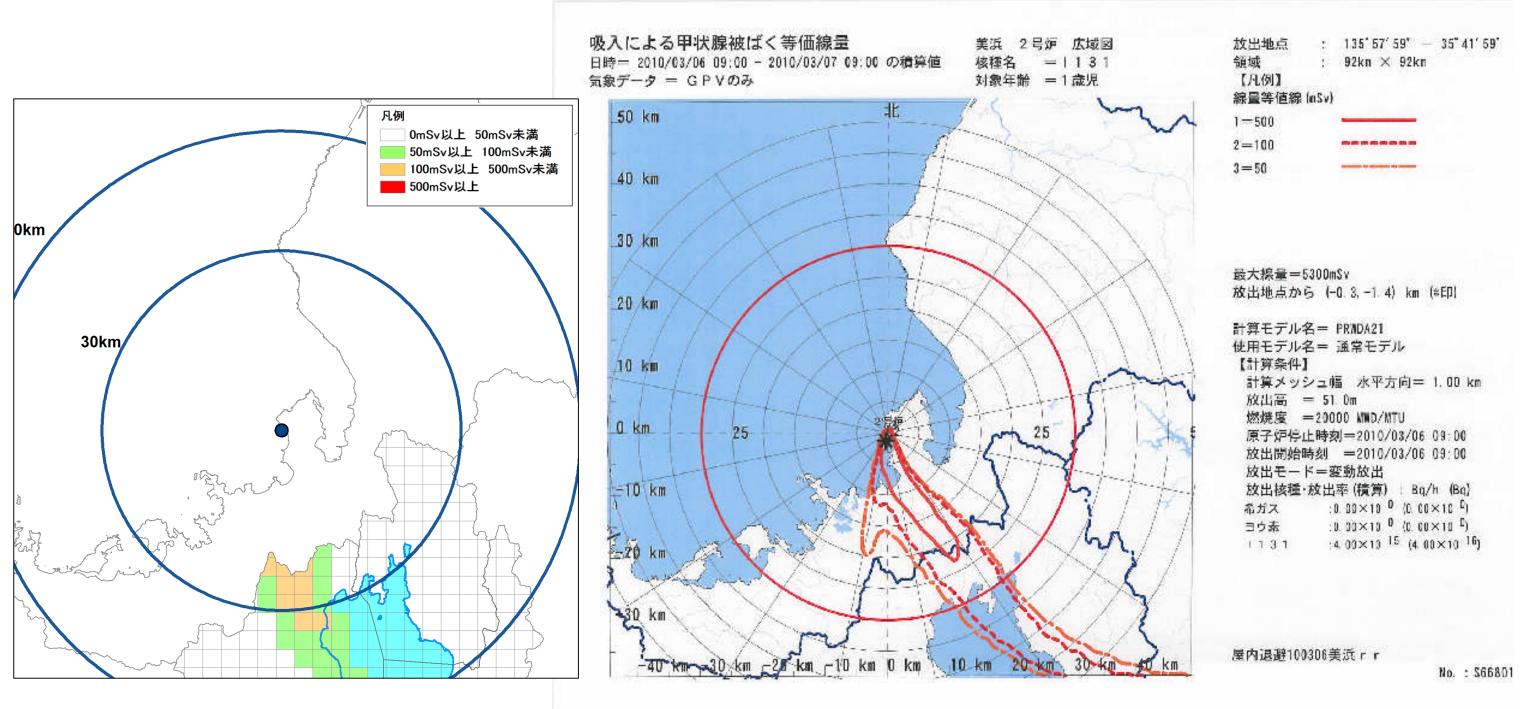
美浜 平成22年 2月 1日



滋賀県モデル予測図形

SPEEDI 予測図形

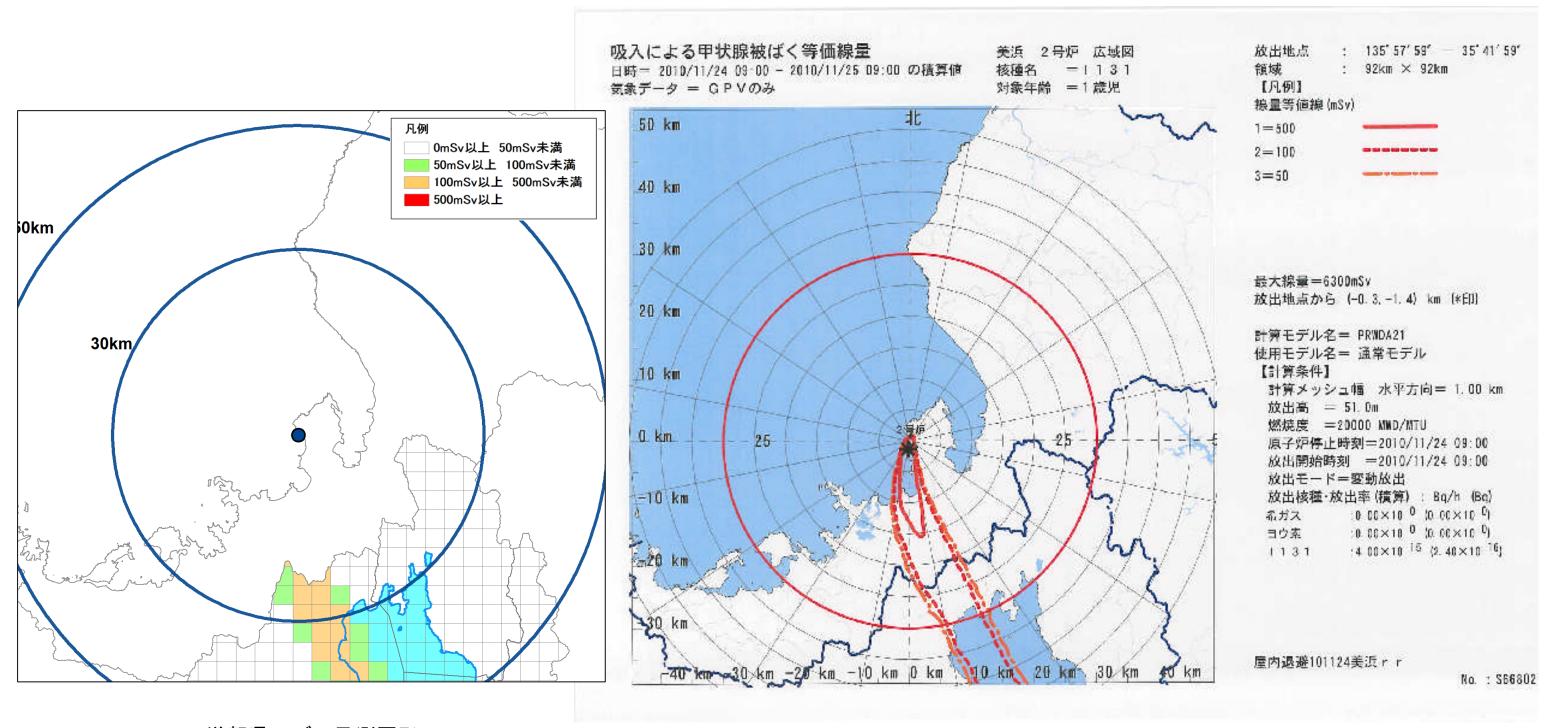
美浜 平成22年 3月 6日



滋賀県モデル予測図形

SPEEDI 予測図形

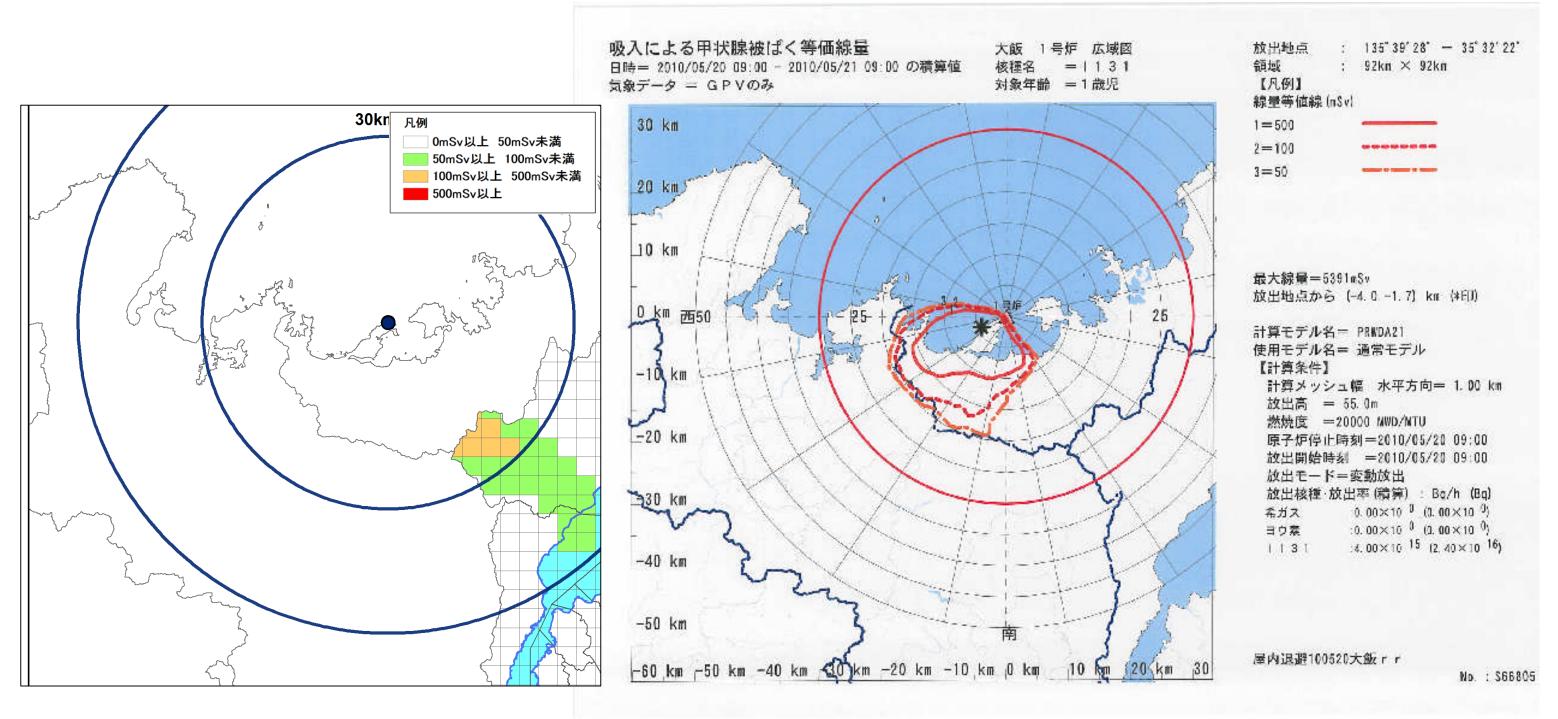
美浜 平成22年11月24日



滋賀県モデル予測図形

SPEEDI 予測図形

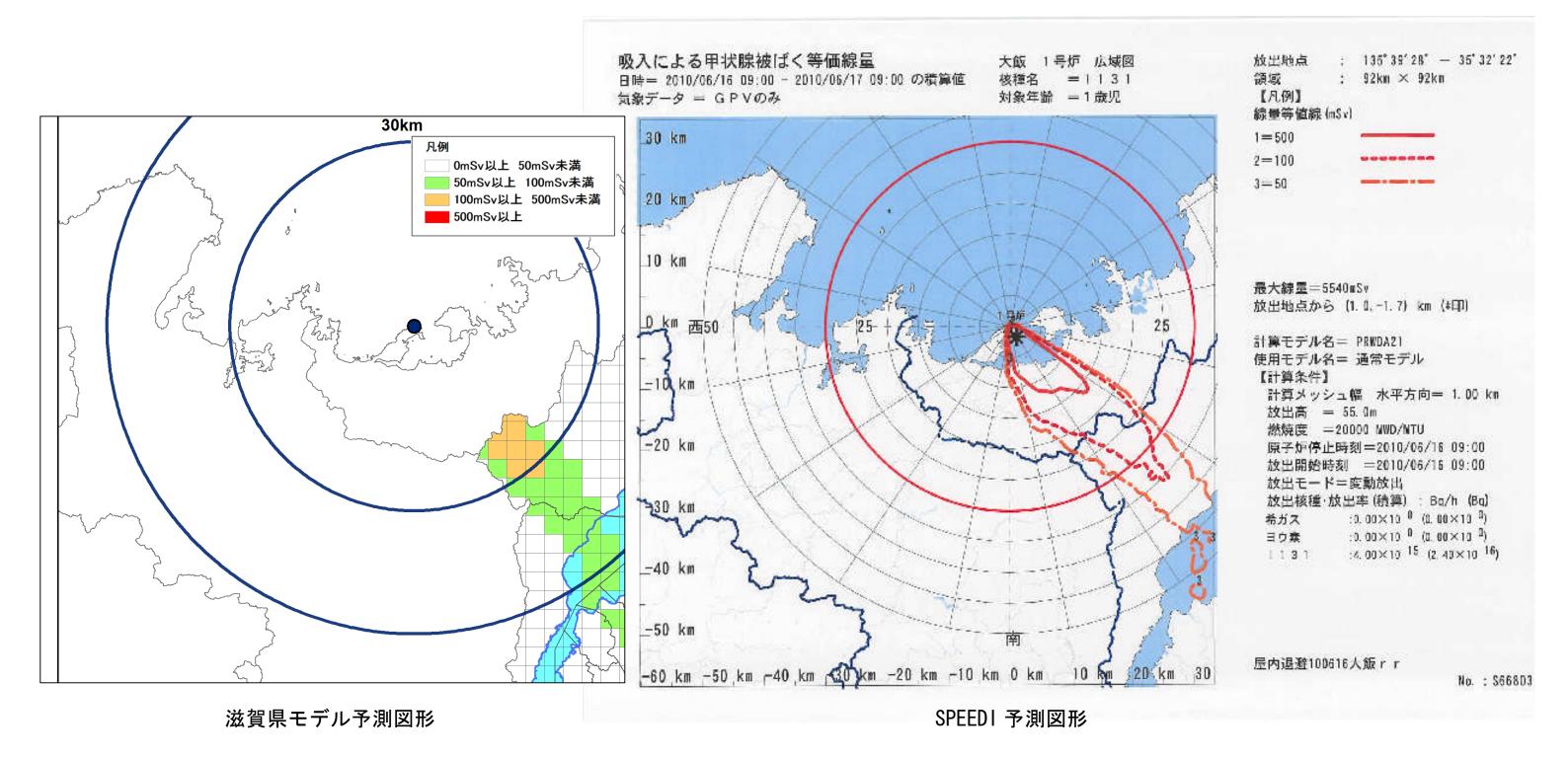
大飯 平成22年 5月20日



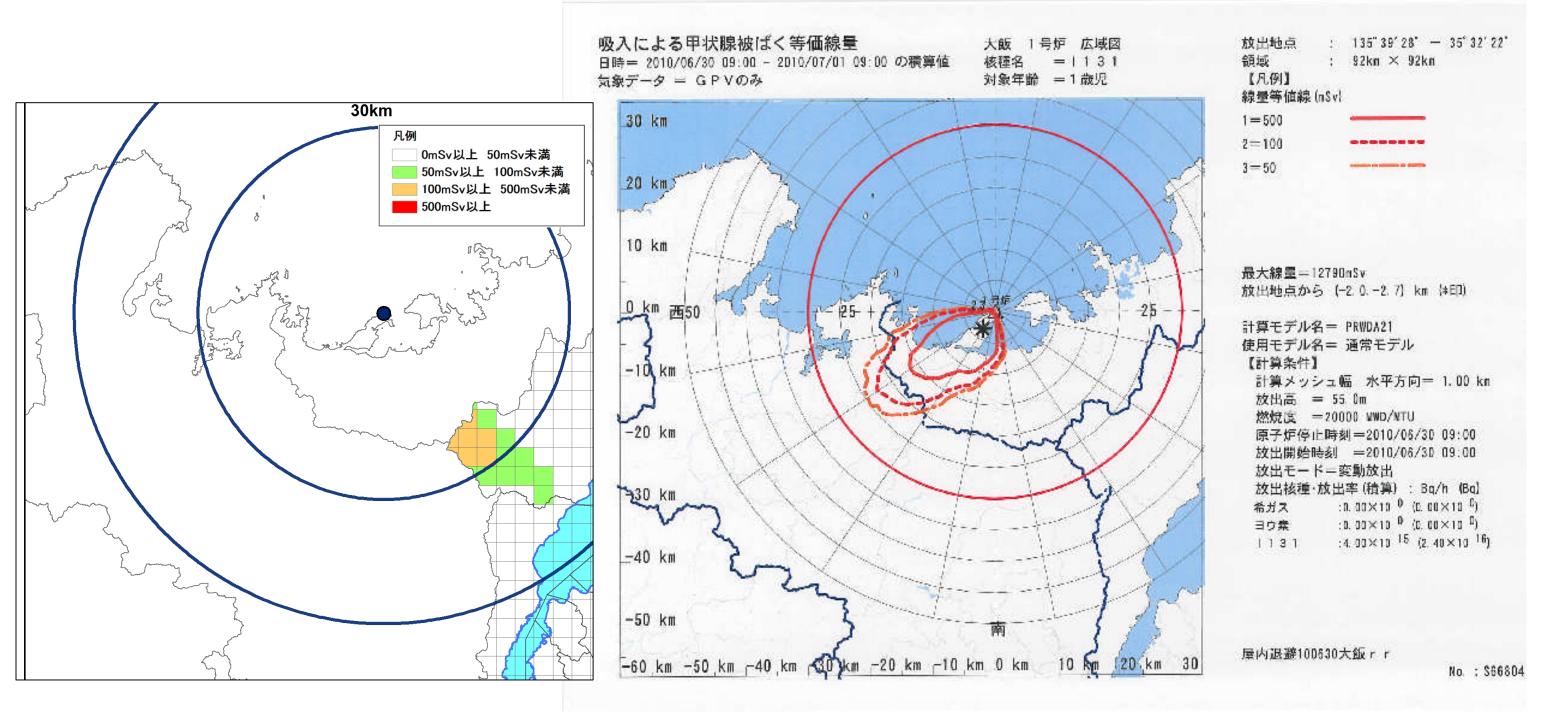
滋賀県モデル予測図形

SPEEDI 予測図形

大飯 平成22年 6月16日



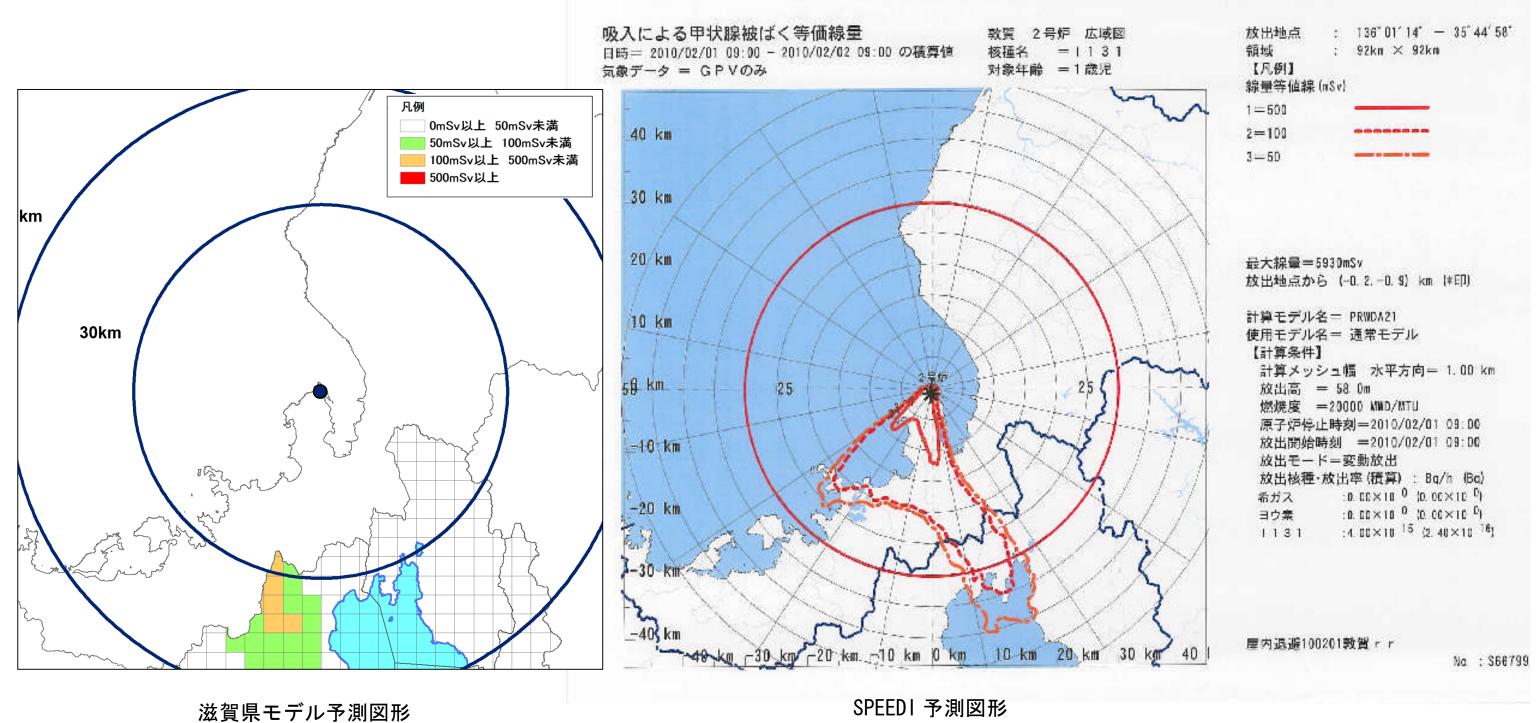
大飯 平成22年 6月30日



滋賀県モデル予測図形

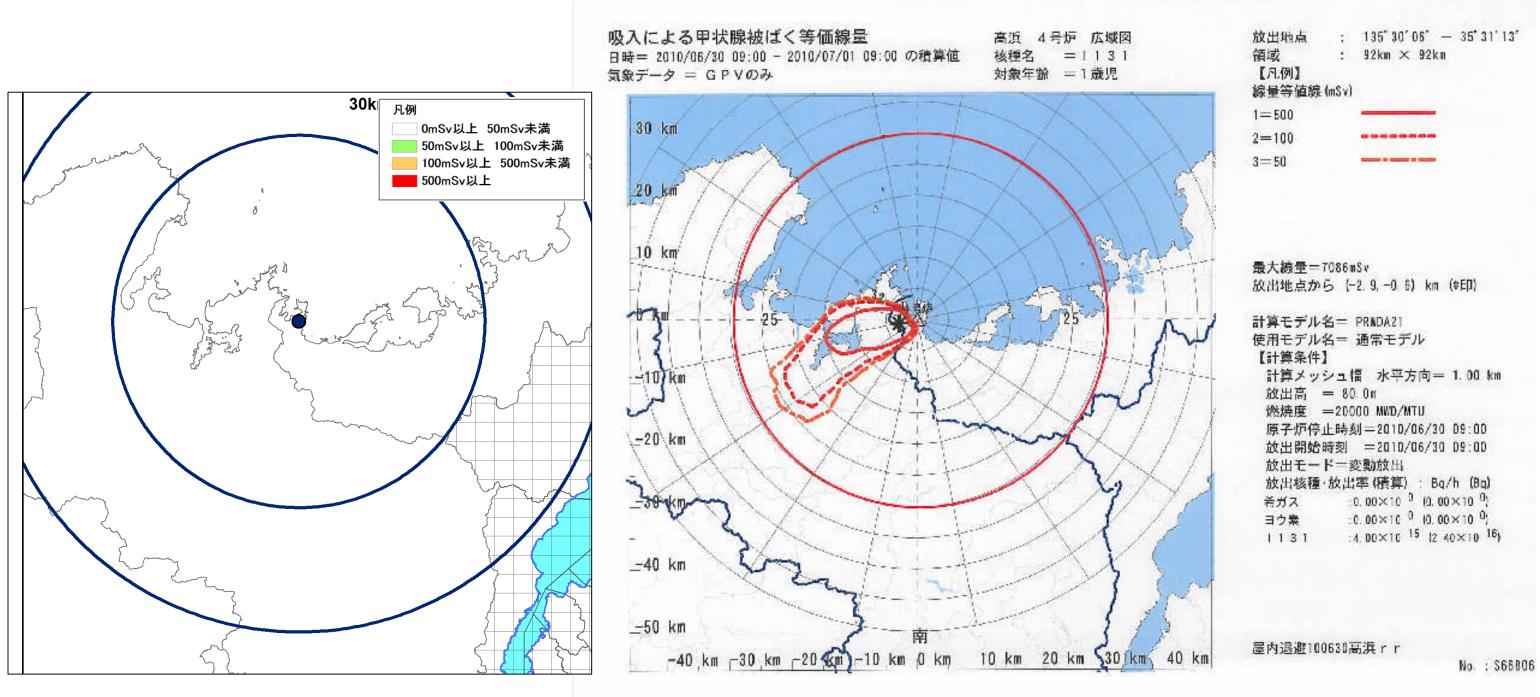
SPEEDI 予測図形

敦賀 平成22年 2月 1日



SPEEDI 予測図形

高浜 平成22年 6月30日

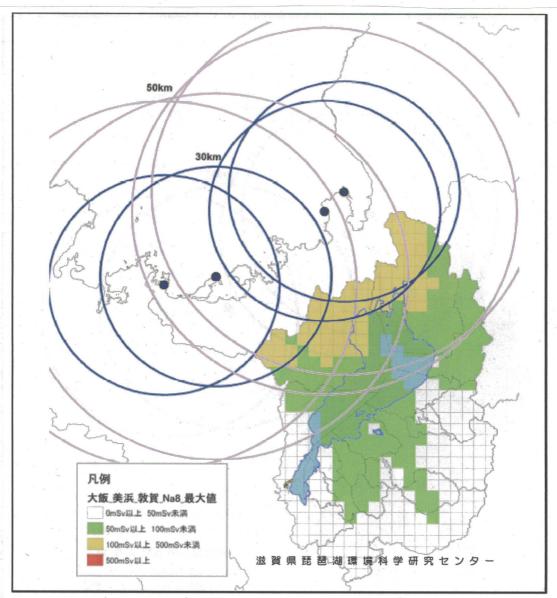


滋賀県モデル予測図形

SPEEDI 予測図形

滋賀県モデルによる放射性物質拡散予測結果

(甲状腺被ばく等価線量)



予測の前提条件

- ① 放出量:ヨウ素2.4×10~16Bq
- ② 放出時間:6時間

1 - 45 M - 30 C - 30

- ③ 排出高さ:第3 層(約44m~73m)
- ④ 放出想定発電所:日本原子力発電(株)敦賀発電所、関西電力(株)美浜発電所、 関西電力(株)大飯発電所、関西電力(株)高浜発電所
- ⑤ シミュレーション日の選定: 2010 年のアメダスのデータを基に、滋賀県に影響が大き くなると考えられる日を選定
- ⑥ 積算線量の計算方法:第1層の濃度を用いて計算を行い、1 時間ごとの被ばく線量を計算し、24 時間分を積算。
- ⑦ 滞在時間:屋外8時間、屋内16時間
- ⑧ 図示方法:美浜60ケース、大飯36ケース、敦賀、高浜各5ケース分のシミュレーション結果から最高値となる区域の分布を示す。